

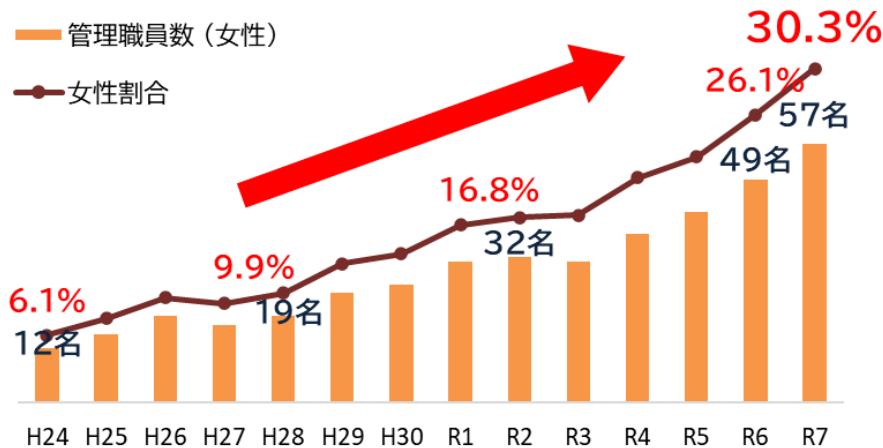
女性管理職（副課長以上）の割合が30%を超えました

令和7年4月1日付けの人事異動に伴い、女性職員の割合が極めて低い消防局職員を除いた副課長級以上の女性管理職の割合が30.3%（管理職職員数188人 女性管理職職員数57人）となり、本市では初めて30%を超えました。

国では、第5次男女共同参画基本計画において、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう目指しておりますので、国の目標に沿う形で2025年度での達成となりました。

なお、特に部長級では、18名のうち7名が女性職員となり、割合も38.9%と、宮崎県内9市の中でもトップクラスだと言えます。

●消防局職員を除く女性管理職の割合の推移



●管理職職員数の内訳 ※()内は消防局職員を含む

・令和7年4月1日現在の本市の状況

	職位	男	女	計	女性割合
R7	部長	11 (12)	7 (7)	18 (19)	38.9% (36.8%)
	課長	59 (66)	19 (19)	78 (85)	24.4% (22.4%)
	副課長	61 (69)	31 (31)	92 (100)	33.7% (31.0%)
	合計	131 (147)	57 (57)	188 (204)	30.3% (27.9%)

【参考】県内の部長級職員数（消防局職員を含む）※内閣府の公表資料に基づく

・令和6年4月1日時点の状況（部局制としている市）

項目	都城市	宮崎市	延岡市	日南市	小林市	日向市
部長級	18	18	16	12	10	13
うち女性	5	2	1	1	3	2
女性比率	27.8%	11.1%	6.3%	8.3%	30.0%	15.4%

↓
令和7年4月1日 **36.8%**